

コンサートレポート

市川シニアアンサンブル

第7回定期演奏会

五月十日に開催した定期演奏会での課題の一つは「どれだけ来場者を増やせるか」でした。前回までの定演の会場は、市川市文化会館の小ホール。収容人員は四百人で、ほぼ満席でした。しかし、この数年の団員数の増加で、小ホールの舞台では手狭になり、今回から大ホールを使うことに。大ホールの収容人員は千七百人。客席がガラガラだと「みつともない」ので、来場者数を少なくとも八百名程度にする必要があります。一挙に2倍の人数の動員は絶望的に思われましたが、案内状の送付、マスコミ広報等、従前まで行なってきた広告に加え、SNSの利用など新たな方法も試みました。知人、同窓会への声掛けにも励みました。

演奏会当日、舞台から客席を見てビックリ。千百席ある一階は8割程が埋まり、二階席も相当な人数。来場者は千百人を記録し、多くの方から「素晴らしい演奏会！大成功ですね」と、嬉しいお言葉も頂戴しました。ご協力頂いた皆様に、感謝します。



高崎康史

四街道シニアポップスオーケストラ

第20回記念定期演奏会

2026年5月26日(火)、四街道市文化センター大ホールにおいて開催し、平日にも関わらず大勢のお客様に来ていただきました。

今回は、前半、第1ステージでは「川の流れのよう」に他2曲。第2ステージでは「ベサメムーチョ、アレグロツパ、夜のタンゴ」の3曲を。

前半終了の後、休憩を挟んで、「みんなで歌おう」と題して、四街道で活躍しているコーラス部のお一人の方に、「遠くへ行きたい、リンゴの歌、上を向いて歩こう」3曲を歌っていただきました。更に、後半の中間に一曲、「テネシーワルツ」も同じ歌手に歌ってもらいました。

回収したアンケートによると、「みんなで歌おう」の3曲はプログラムに歌詞を載せてありましたがテネシーワルツの歌詞は入れてなかったところ、載せて欲しかったという意見があり、「みんなで歌おう」の3曲についても「歌えて良かった、大声で歌って気持ちが良かった」と大変好評でした。お客様は、ただ聞くだけでなく、歌うことで参加し、音楽を楽しまれたのだと思います。

今回の演奏曲は、これまでのアンケートで好評だった曲を中心に選び、クラシックの「ドナウ川のさざなみと春の歌」、そしてポール・モーリアの世界等を演奏、アンコールは「すばる」。「昂」は、高揚感があり、大変好評でした。



日和一郎

習志野シニアアンサンブル

第5回定期演奏会

当団では、6月10日(水)にプラッツ習志野市民ホールで、第5回定期演奏会を開催いたしました。現在、習志野市内には大きなホールがなく、小さなホールでの開催となり、満席による混乱が心配でしたが、応援の皆様の適切な対応に助けられ、円滑に会を進めることができました。皆様、有難うございました。

曲目は、第1部をクラシック、第2部をポピュラーと昭和歌謡としました。昭和歌謡では、団員の歌に合わせ、お客様にも歌っていただきました。皆さんうれしそうに歌われ、私たちも楽しませていただきました。

アンケートを分析すると、クラシックでは好みの曲に年代別の違いは見られませんが、昭和歌謡では年代別の違いがはっきりしていました。それぞれのお客様が二十歳前後の時の曲を好まれている様子でした。始まりはちよつと緊張しましたが、終わってみると達成感があり、充実した一日でした。



郡山 信